

2 廊下等

(1) 廊下等

| | 整備基準 | 図面及び各項目の名称・番号等 | 設計内容 | 判定基準 | 留意事項 |
|--|---|----------------|--|------|--|
| 廊下等 | 粗面又は滑りにくい床仕上材 | | (床仕上材) | | |
| | 段の有無 「段がある場合には、(2)の表の廊下等」に設ける段の欄で確認してください。 | | (段の有無) ・有 ・無 | | |
| 直接地上へ通ずる出入口又は駐車場へ通ずる出入口から各室の出入口に至る経路となる廊下等 | 内のり幅1.4m以上 (末端付近及び区間50m以内ごとに車いすが転回できる部分(概ね150cm角以上)を設ける場合は、1.2m以上) 高低差がある場合には、傾斜路又は段差解消機を設置 「傾斜路がある場合には、(2)の表の廊下等に設ける傾斜路の欄で確認してください。」 出入口、エレベーター、段差解消機の昇降路の出入口及びエスカレーターの乗降口に接する部分の床の水平を確保 適切な位置に休憩用の設備を設置 休憩設備を設けている旨を見やすい方法で表示 | | (最小内のり幅) m (転回スペースの内のり寸法) m (廊下の最大延長) m (転回場所末端) 箇所 (転回場所中間) 箇所 (設置する設備の名称) ・傾斜路 ・段差解消機 | | 「出入口」の基準を満たすものの間の経路について1経路以上を適合させてください。 途中に「エレベーター」の基準を満たすエレベーターが設置されている場合は、その昇降路を含むものとします。 |
| | | | ・固定式のベンチ ・椅子 ・その他 () | | 設置対象となる施設は、下記の注意書きに掲げる施設で床面積が1,000㎡を超える施設です。 |
| | | | ・標準的な設計の例による。 ・その他 () | | |
| 直接地上へ通ずる出入口から受付等までの廊下等 | 視覚障害者を誘導する施設等の設置 | | ・線状ブロック及び点状ブロック ・音声誘導装置 ・人による誘導 ・その他 () | | 1経路以上を適合させてください。 |
| 受付等及びエレベーターの昇降路の出入口に近接する廊下等 | 視覚障害者の注意を喚起する施設 | | ・点状ブロック ・人による注意喚起 ・その他 () | | |

(注意) 1 用語の説明

- (1) 「廊下等」とは、廊下その他これに類するものをいいます。
- (2) 「受付等」とは、人又は「案内標示等」の基準を満たす案内標示等により視覚障害者に建築物全体の利用に関する情報提供を行うことができる場所をいいます。
- (3) 「段差解消機」、「線状ブロック」及び「点状ブロック」については、注意事項(共通)を参照してください。

2 整備基準の説明

- (1) 共同住宅等については、共用の廊下等だけが対象となります。
- (2) 「休憩用の設備」が設置対象となる施設の範囲は、次に掲げる20の公益的施設並びにその複合施設で、用途面積の合計が1,000㎡を超える施設となります。

①社会福祉施設、②病院・診療所及び助産所、③学校等施設、④公益事業の営業所等、⑤金融機関の店舗等、⑥火葬場、⑦文化施設、⑧集会施設、⑨地下街等、⑩飲食店、⑪百貨店・マーケットその他物品販売業を営む店舗、⑫理容所等、⑬クリーニング取次店・貸衣装屋・旅行代理店その他サービス業を営む店舗、⑭体育館・ボーリング場・スケート場・水泳場・スポーツの練習場その他類似施設、⑮劇場・映画館・観覧場その他類似施設、⑯展示場その他類似施設、⑰ダンスホール・遊技場・麻雀屋・パチンコ店・カラオケボックスその他類似施設、⑱公衆浴場、⑲ホテル・旅館その他類似施設、⑳公共交通機関の施設(改札口の手前までの部分)